

忍者の都 案内の書にござる

都内にある、忍者ゆかりの場所をまとめた児童書「TOKYO忍者ロードマップ」が出版された。忍者研究の第一人者、三重大の山田雄司教授が監修した。若者でにぎわう原宿に忍者が多く住んでいたなど、知られざる東京の歴史が分かる一冊。漢字にはふりがなが振られ、子どもたちも楽しみながら学べる内容になっている。

若者の街・原宿 江戸時代には伊賀者の街



三重大・山田教授監修 児童向けに出版

本は「忍者って、なにをする人?」「江戸時代の忍者たち」「かわっていく忍者の姿」といった章で構成。

忍者を召し抱え、忍者が東京にやってきた」と解説する。

東京の忍者にまつわる場所を訪れるための四つのコースも紹介。忍者が守った1ぐるっと江戸城めぐり▽服部半蔵ゆかりの四谷寺社めぐり▽伊賀・甲賀

原宿は「伊賀者」に与えられた土地で、神宮球場は「甲賀者」が鉄砲の練習を

山田教授は「大人も学べる本。多くの伊賀者や甲賀者が江戸に移り住んで、守っていたことを知ってほしい」と話す。37頁、税別1500円。問い合わせは、子どもの未来社(03・3830・0027)へ。

(現在の愛知県)へ逃げる際に、伊賀・甲賀の忍者が逃亡を手助けた歴史を紹介し、「江戸幕府を開いたとき、家康は伊賀・甲賀の

川家ゆかりの港区——で、

服部半蔵の墓や、使っていたとされる槍が伝わる、四谷の西念寺(新宿区)では2年ほど前に、忍者をあしらった御朱印帳などを作

住職の西嶋晃健さん(48)は「半蔵さんをきっか

(森直由、山下知子)



服部半蔵の墓 新宿区若葉

甲賀者が弾撃った所 清宮選手も球打った